



平成 25 年 6 月 28 日（金） 恵那市立東野小学校にて
 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の
 「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことは知ってもらおう講演会や体験実験を行っています。

岡本光美先生のご尽力により、平成 25 年 6 月 28 日（金）、恵那市立東野小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。

当日は、東野小学校 教務主任の原先生をはじめ、学校関係者のご協力により、小学生 76 名（1 年生：7 名、2 年生：10 名、3 年生：14 名、4 年生：13 名、5 年生：15 名、6 年生：15 名）、ご父兄 18 名が参加しました。講義と体験実験は、大変分かり易かったと大好評でした。尚、今回の取組は平成 25 年 6 月 29 日の中日新聞（岐阜版）に掲載されました。

恵那市東野小学校における「くすり教室」

日時：平成 25 年 6 月 28 日（金）10 時 40 分～12 時 15 分

場所：恵那市東野公民館

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学部生が漫画を使ってわかりやすく説明しました。

- ・「体験実験」

児童は学年毎に 15 グループ（1 グループ 3～8 名）、ご父兄は 2 グループ（1 グループ 9 名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構の鍋島俊隆理事長、野田幸裕理事を中心に、名城大学薬学部の毛利助教、大学院生と学部生が小学生と共に、体験実験を行いました。また、保護者の方も体験実験を行いました。

＜実験項目＞

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1 ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. コップ1 ぱいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？
4. 「ざやく」ってなんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあることを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学 I
 （谷口将之、毛利彰宏、野田幸裕）
 監修：名城大学薬学部 地域医療
 薬局学講座
 NPO J-DO（鍋島俊隆）

